

The 3rd International Conference on Material and Processing ICM&P 2008

出張報告

文責：構造工学研究室
2008 年度当ゼミ大学院 2 年
松岡香穂

学会名: The 3rd International Conference on Material and Processing ICM&P 2008

主催: JSME and ASME

開催日時: October 7-10, 2008

開催場所: Northwestern University, Evanston, Illinois, USA

研究発表題目及び発表者

Application of high homogenization technique to fabrication of electric testing prove disk using micro-fibrillated bacteria cellulose

Kaho Matsuoka

発表形式: Oral (22.5min)

学会 HP: <http://msec2008.northwestern.edu/index.html>

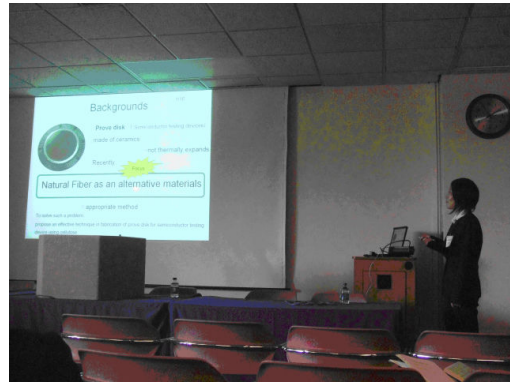
私は 2008 年 10 月 7 日～10 日にアメリカのシカゴ郊外エバンストンにて開催された国際学会『the 3rd International Conference on Material and Processing ICM&P 2008』に参加してきました。セルロースマイクロフィブリルに関する研究報告を接着セッションにて発表してきました。英語での発表は二回目であったので落ち着いてできたと思います。発表後の質疑応答は質問内容をはっきりと理解する事ができたので、前回よりしっかりと答えることができました。今後の課題は解答内容のさらなる充実度だと思います。分野の違う発表を聞き材料といっても多様性に富んでいる事を改めて感じました。

また、学会行事の一つであったディナークルーズに参加し、ミシガン湖のすばらしい夜景を楽しむ事ができました。他大学の学生達とも一緒に観光等にも行き親交を深める事ができました。

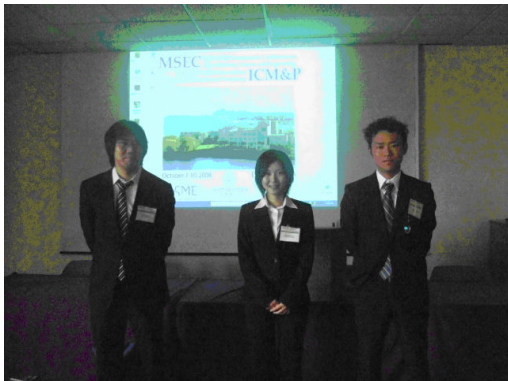
このような機会を与えてくださった同志社大学をはじめ、藤井先生、大窪先生および当研究室関係者に感謝致します。



学会の様子



発表の様子



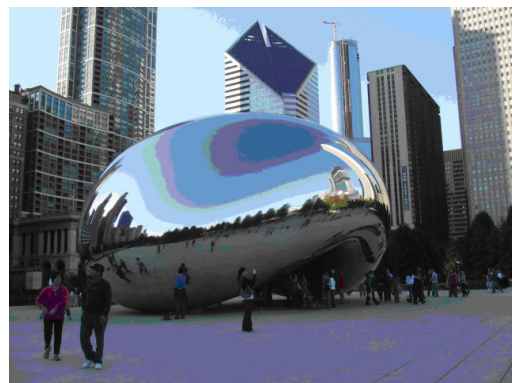
発表後他大学の学生と



発表教室の前にて



ディナークルーズ



ミレニアムパーク